



Vol.40

平成29年1月

日野市のごみ情報誌

エコ

利便性よりも未来環境
ごみゼロ社会をめざそう

5つのRで始まるキーワード

- | | | |
|---------|---|---------|
| 1 断 | る | Refuse |
| 2 減 | 量 | Reduce |
| 3 何度も使う | | Reuse |
| 4 返 | す | Return |
| 5 分別徹底 | | Recycle |

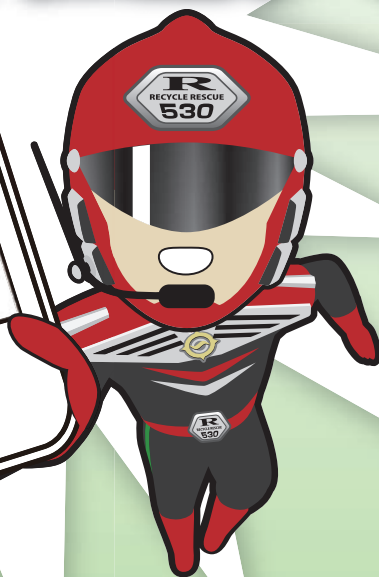
〒191-0021 日野市石田 1-210-2 ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606 ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>

「エコー」は市HPでもご覧いただけます。公共施設にも置いてあります。

そんなお悩みにお答えします！



日野市 ごみ分別アプリ



ごみの分け方に困ったことは
ありませんか？

照明器具はどうやって出すの？掃除機は不燃ごみ？など、ごみの分け方に困ったことはありませんか？実はこれらは、きちんと分ければ大部分が無料で出せるんです。

照明器具の蛍光管は「有害ごみ」、傘は「不燃ごみ」、機械部分は「小型家電・金属類」、掃除機のホースは「不燃ごみ」、本体は「小型家電・金属類」です。このように、知っていればちょっとお得な情報が、手軽に確認できる「ごみ分別アプリ」。アプリ内の分別辞典では50音順で分別方法を調べることができます。

また、ごみ出し忘れ防止機能やごみ袋販売店検索など、便利な機能を満載！ぜひ「ごみ分別アプリ」をご利用ください。

AppStore(iPhone)
PlayStore(Android)
からダウンロード



(上記QRコードからアクセスできます)

今号の主な内容

- これからの地球環境を考えて ごみゼロ社会をめざそう！…………… 2・3面
- ごみ・資源物の出し方など…………… 4～7面
- 「収集漏れかな？」と思ったら、一度ご確認をお願いします…………… 8面
- 新可燃ごみ処理施設整備・市プラスチック類資源化施設整備のスケジュール…………… 8面

この情報誌「エコー」は、環境 (Environment) と協力 (Cooperation) の頭文字が皆さまのもとへ響き、それが大きな反響となって広がっていくことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減っていき、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。

これからの地球環境を考えて

循環型社会の実現に向けた5R

市では、持続可能な「循環型社会」を実現するために、ごみの排出をゼロにするためのキーワード「5R」を進めてきました。

- ① 断る（発生回避）^{リフューズ} Refuse
- ② 減量（発生抑制）^{リデュース} Reduce
- ③ 繰り返し使う（再使用）^{リユース} Reuse
- ④ 販売店に返す（返却）^{リターン} Return
- ⑤ 分別徹底し資源として活用（再生利用）^{リサイクル} Recycle



優先
減量

② 発生抑制 (Reduce)

- ・生ごみを自家処理する
- ・食べ物をムダにしない
- ・できるだけ長く使う

③ 再使用 (Reuse)

- ・詰め替え商品を選ぶ
- ・リユースショップ、フリーマーケットを利用

最優先
断る

① 発生回避 (Refuse)

- ・マイバッグを持参しレジ袋を断る
- ・ペットボトルよりもマイボトル
- ・本当に必要か買う前に考える
- ・必要以上に買わない

容器包装
お返し大作戦!

④ 返却 (Return)

- ・ペットボトル、牛乳パック、トレーなどは店の回収ボックスへ
- ・新聞は販売店回収に出す

⑤ 再生利用 (Recycle)

- ・古紙、古着、びん、カンなどは徹底分別し資源として活用する

リサイクル（再生利用）は焼却・埋立ごみを削減し、天然資源を減らすことには貢献できますが、リサイクルする過程で大量のエネルギー資源と水が使われます。

ごみになるものを貰わない・買わないリフューズ（発生回避）は製造段階からのごみ削減につながり、リサイクルよりも焼却・埋立処分の削減になります。

ごみゼロ社会をめざそう！



Part32

ごみを
減らして

温室効果ガスの発生を抑えよう

地球温暖化は人間の活動に伴って排出された温室効果ガスが主因となって引き起こされるとする説が現在主流となっています。パリ協定で、各国が5年ごとに互いに進捗状況をチェックし、目標を見直すことが義務付けられていますが、当面日本は、2013年度比マイナス26%という目標を2030年に達成しなければなりません。そのため今後、家庭でも温室効果ガス排出量の大幅な削減が求められ

ることは必至です。

レジ袋やペットボトルを避け、マイバッグを持参する、マイボトルを持ち歩く、これらの効果は小さいように見えます。しかし、積み重ねていくうちに、意識や生活そのものが変わり、大きな効果につながっていきます。このようなライフスタイルの変革と、温室効果ガス対策技術の進歩、行政の積極的な施策がこれからの地球環境を左右していきます。

パリ協定

2015年フランスパリで開催された「気候変動枠組条約第21回締約国会議」（COP21）で採決された世界196カ国が温室効果ガスの削減を約束する「パリ協定」が、2016年11月4日に発効しました。

地球の気温上昇を産業革命前に比べ、2℃未満（できれば1.5℃）に抑える努力目標を達成するには、今世紀後半には温室効果ガス排出量を実質ゼロにしなければなりません。現在すでに1℃上昇しており、右図のような影響が懸念されています。



▲干ばつによる食料不足



▲異常気象の増加



汚れたプラスチックは 洗って不燃ごみへ

市では、平成32年からプラスチック類を資源化するため、分別回収を始める予定です。これにより、不燃ごみが大幅に減少すると予想されますが、不純物が含まれると資源化が難しくなります。

現在も汚れたプラスチックは洗って不燃ごみに分別していただくようお願いしていますが、不燃ごみの中身を見ると、汚れたプラスチックが数多く含まれています。

今後プラスチック類を分別回収する際に汚れたものが混入すると、資源化に支障が生じてしまいます。将来の準備も兼ねて「汚れたプラスチックは洗って不燃ごみ」

で排出するようお願いします。なお、洗っても汚れが落ちない場合は可燃ごみとなります。ご注意ください。



▲不燃ごみに汚れたプラスチック類がたくさん含まれています

ごみ・資源物の出し方

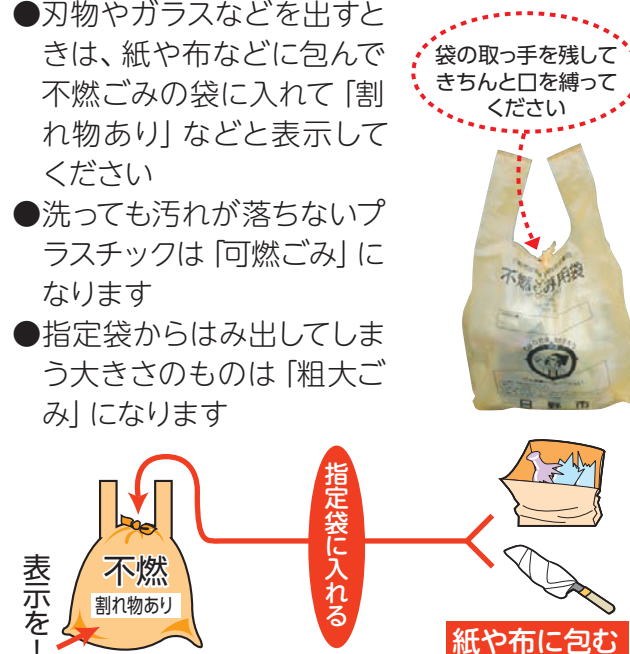
可燃ごみ

- 緑色の指定袋に入れ、袋の取っ手を残してきちんと口を縛ってください
- 生ごみは水分を絞ってから（生ごみのひと絞りは減量効果抜群です）
- 指定袋からはみ出してしまう大きさのものは「粗大ごみ」になります
剪定枝は1回につき2束まで出せます



不燃ごみ

- オレンジ色の指定袋に入れ、袋の取っ手を残してきちんと口を縛ってください
- 刃物やガラスなどを出すときは、紙や布などに包んで不燃ごみの袋に入れて「割れ物あり」などと表示してください
- 洗っても汚れが落ちないプラスチックは「可燃ごみ」になります
- 指定袋からはみ出してしまう大きさのものは「粗大ごみ」になります



ごみ・資源物は午前8時までに出さなければなりません



ごみ・資源物の収集は、市内各地域で午前8時から午後4時ごろまで行っています。

収集車は、ごみ・資源物が満載になるとクリーンセンターへ戻るため、収集時間は、その日の排出状況、天候、交通事情などにも影響され、毎日一定の時間とは限りません。

そのため、全ての「ごみ・資源物」は、午前8時までに排出するようお願いいたします。

午前8時までに排出されなかった場合、収集漏れの対応はできませんので、「ご了承ください」。

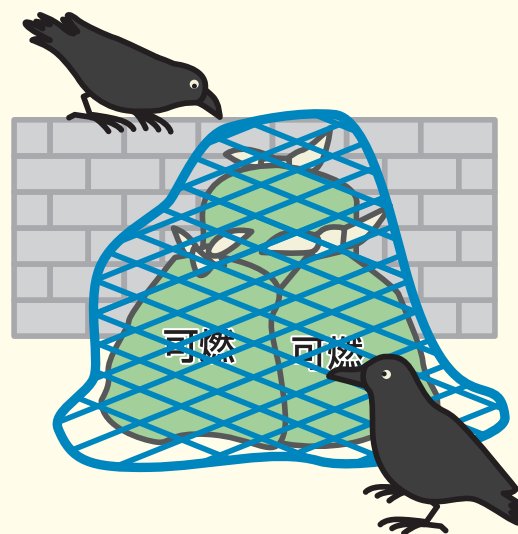
なお、一度に10袋以上排出される際は、収集車両の積載量の都合がありますので、事前に「ごみゼロ推進課」(☎581・0444)までご連絡ください。

出すときの注意

ごみ・資源物は、回収されるまでの間にガラスや猫にごみが荒らされないよう（特に可燃ごみ）、**ネットをかぶせるなど、鳥獣被害対策を行うよう**、あわせてお願いします。

風が強い日は、ネットなどが飛ばされないよう、重しを用意するなどの対策をお願いします。特にペットボトル、発泡トレイは軽いので、「ご注意ください」。また、びんは回収されるとかごだけが残り、風に飛ばされやすくなりますので、一緒に重しをご用意ください。

鳥獣被害対策にネットやバケツなどを利用する際は、長期間使用すると経年劣化により壊れやすくなりますので、定期的に交換をお願いします。



「容器包装お返し大作戦！」にご協力を！

■ペットボトル・トレーの行政回収量が増加しています

「容器包装お返し大作戦！」とは、容器包装削減の取り組みとして、買ったお店の回収ボックスに資源物を返す取り組みです。

ペットボトルや発泡トレー、牛乳パックなどの容器包装を、資源物として販売店に返し、生産者や販売者に回収・リサイクル・処分まで責任を持ってもらうことで「ごみにならない商品の生産・販売」を働きかけ、容器包装によるごみを減らす目的があります。

また、資源物の回収やリサイクルに年間約5億円もの費用がかかっています。この取り組み

が広がることによって、市の費用負担を減らすことができます。

平成22年の取り組み開始以降、市の資源物回収量は減りましたが、平成25年度からは品目によって微増傾向にあり、特にペットボトルとトレー類の行政回収量が増加しています。

お買い物の際にはマイバッグにペットボトルやトレーなどの容器包装を入れて店に返却し、買った商品はマイバッグで持ち帰るなど、「容器包装お返し大作戦！」の一層のご協力をお願いします。

ペットボトル・トレー類の行政回収量の推移

(単位：kg)

年 度	ペットボトル		トレー類		合 計	
	回収量	平成24年度比	回収量	平成24年度比	回収量	平成24年度比
平成27年度	330,020	110.4%	147,490	118.9%	477,510	112.9%
平成26年度	312,720	104.6%	138,360	111.6%	451,080	106.6%
平成25年度	305,100	102.0%	129,170	104.2%	434,270	102.7%
平成24年度	299,030	—	124,020	—	423,050	—

■お店に返す時はルールを守るようお願いします

販売店により回収している品目は異なりますので、お返しの際は、それぞれの店舗のルールに従ってください。各店舗の回収品目は「ごみ資源分別カレンダー」の27ページで紹介しています。また、資源物は洗って乾かすなど、必ずルールを守りましょう。

飲み残しのペットボトルや汚れたトレーなどの混入は資源化の妨げとなりますので、絶対におやめください。



ごみ・資源物収集時に路面凍結防止対策を行います

降雪時に、より安全にごみ・資源物の収集作業を行うため、道路などに路面凍結防止剤を散布する場合があります。

これは、過去の降雪の際、路面凍結のためごみ・資源物の収集ができなかった地区があり行うもので、散布する場所は、日照条件が悪く、雪や雨の翌日に路面が凍結する恐れのある場所です。

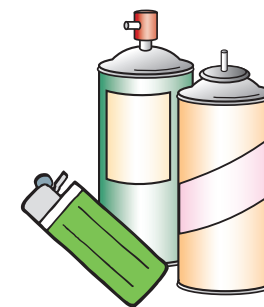
また、降雪時などには、収集車両にチェーンを装着して安全対策を図っていますが、収集できないことが生じる恐れがあります。皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

ごみ・資源物を出すときのお願い

ごみ出しのルールは、「ごみ・資源分別カレンダー」14ページ以降に記載されています。お問い合わせの前に、一度お読みください。今号では、皆さまからよく寄せられるご質問や、特に注意していただきたいことを記載しています。ぜひ、ご確認ください。

スプレー缶

- 危険ですので、中身を出し切っても、穴をあける必要はありません。
- 中身の出せないものは、不燃ごみの指定収集袋に入れてクリーンセンターもしくはごみ相談窓口（市役所本庁舎1階、水曜～金曜日9：30～12：00、13：00～16：00）へ。



古着・古布類

- 雨の日は運搬中に濡れてしまうので、なるべく次回にお出ください。



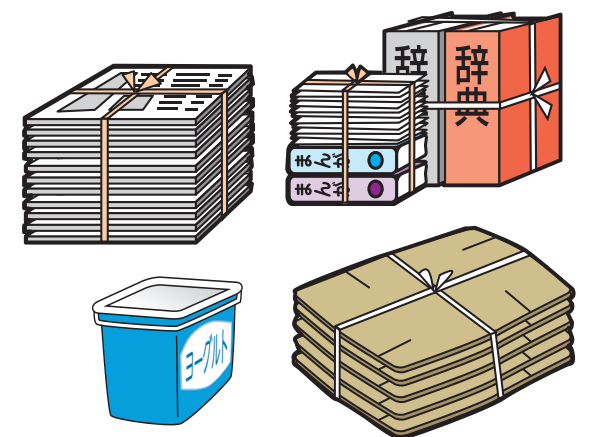
かん・びん・ペットボトル

- 洗って出してください。
- 中に異物を入れないでください。
- ビニール袋に入れないでください。
- かん・ペットボトルはなるべく買ったお店に返してください。



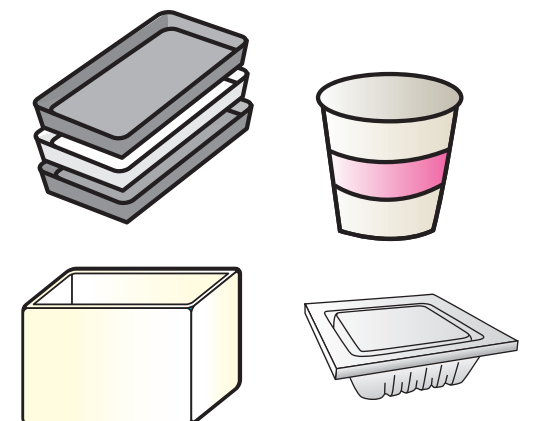
新聞紙、雑誌・雑紙類、段ボール、紙パック類

- ガムテープでくくるのはやめてください。
- ビニール袋に入れないでください。
- 雨の日は運搬中に濡れてしまうので、なるべく次回にお出ください。



発泡スチロール・トレー類

- 洗って出してください。
- トレーはなるべく買ったお店に返してください。



粗大ごみ

- 申し込みが必要です。
- 申込先は堺日野環境保全 ☎581-4331です。

「収集漏れかな？」と思ったら、一度ご確認をお願いします

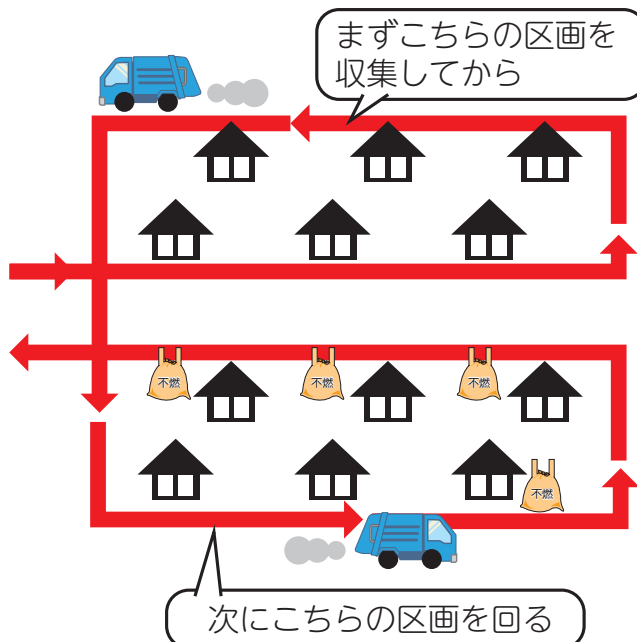
可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、びんの収集業者は、それぞれ違います。

例えば、不燃ごみと段ボールが同じ排出日の場合は、同時に回収されません。

また、道路の左側のお宅から収集する場合もあるので「お向かいのお宅は持って行った」と思っても、後から収集される場合があります。

収集漏れかな？と思ったら、出されたごみの種類、左右隣のお宅が収集されているかなどもご確認をお願いします。

●「道路の左側から収集する場合」の一例



■浅川清流環境組合による新可燃ごみ処理施設整備のスケジュール（予定）

「浅川清流環境組合」は、日野市、国分寺市、小金井市の3市で新可燃ごみ処理施設の設置および運営などを共同で行うことを目的とした一部事務組合です。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
施設整備		●事業者決定(日立造船グループ)				
		設計・建築工事			本格稼働	
		●各種申請 ●建築工事説明会 ●建築工事開始		●試運転開始		
環境影響評価 (事後調査手続)		調査				報告書
		●事後調査 計画書作成				●報告書完成

■日野市プラスチック類資源化施設整備のスケジュール（予定）

日野市は、プラスチック類の資源化により不燃ごみの削減を図るため、新可燃ごみ処理施設稼働に合わせて市単独でプラスチック类等資源化施設を整備します。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
施設整備	土壌調査				
	生活環境影響調査	●生活環境影響調査書作成			
	事業者選定	●事業者決定			
		設計・建築工事			本格稼働
				●試運転開始 ●プラスチック類 分別回収開始	